

## 『My Precious 展～描き溜めた糞を飾る日～』研究結果 第二回研究発表会終了報告と2021年下半期について

コロナ 渦の中開催されたお漫画個展『MyPrecious展～描き溜めた糞を飾る日～』  
皆様の多くのご来場、誠にありがとうございました。  
一人一人のお客様からのお気持ち、しかと受け止めさせていただきました。  
感謝の気持ちでいっぱいです。研究報告をさせていただきます。

### 【研究結果】

---

諸々反省あれど、輝かしい、嬉しい、研究結果となりました。

表舞台に立ってから10年、LABOを立ち上げてから2年、私は自分を

「ハンパ者が変な自己演出でそれっぽくなんかして表に出てる」そんな風に思っておりました。

それが俯瞰で見た時の事実で、自分はどうでもいい人だから平気、と思っておりました。

しかし今回の展示で、自分の作品をオンタイムで見てる人々の横顔を現場でずっと見ていられた、  
感じる事ができた、その時に、笑ってもらえて制御出来ないほど嬉しかったり、逆に拒否する空気  
に肝が冷えたり、お客様からの長編漫画の感想を10回位読み返したりしてる自分は全然平気ではあり  
ませんでした。心が激しく深刻に動いているという事態には、今までの「私の作品なんてどうでもい  
い」のベールを剥がす力がありました。全然どうでもよくないのだと知りました。

わたくしは、人に見て欲しいし、楽しんで欲しい、という意外とフツの事を願っていて、自分の  
作る物にどこか、真剣、だったんだ、とわかりました。驚きました。

毎晩、その新真実へのショックでボーボー泣いておりました。

上から眺めてる乖離してる自分がやっと本体に重なって、“居る”という感覚が芽生えました。

自分を疑い、みくびっている状態をベストと思っていましたが「違うかも」と思いました。

目が覚めるような研究結果に導いてくださったのは、

貴重な機会をくださり大らかにサポートしてくださった人間レストランさん。

そして何より足を運んでくださり、眼差しと大切なお気持ちを下さった皆様です。

本当にありがとうございました。

## 【2021年下半期の研究】

---

上半期はこれでおしまいです。

下半期、秋・冬をどう過ごすか・・・

体力もお金も時間も削られることをしたのだし今年はこれで充分だろう、

と思っていたのに、「次はこれをしたい」「こういう物を作りたい」という気持ちが今は止まりません。終わったばかりのHIGHでしょうか・・・？

32歳になって、時の流れの早さに「何かをやるのに時間がない」としみじみ思います。

お仕事の都合もコロナのこともありますし、

まだ、やれる！とははっきり言えませんが、

やりたいことがはっきりあります・・・気持ちと状況がどう変化していくか・・・

ふわっとした文章ですみません。

よく考えてみたいと思います。お待ちくださいませ。

---

以上を報告とさせていただきます。

ご来場ありがとうございました。

今後もZURULABOをよろしくお願いいたします。

ZURULABO 所長・小野寺ずる

